

## 滋賀県がん診療連携協議会・第9回地域連携部会議事概要

日 時 平成23年9月16日（金）午後2時～午後3時半  
場 所 大津赤十字病院 外来棟6階会議室  
出席者 各部会員

### 1. 経過報告と今後の予定について

#### ■地域連携部会スケジュール【資料1】

- ・第9回地域連携部会で承認をいただく予定で、作業部会では肝がん地域連携パス・肺がん地域連携パス・進行期胃がん地域連携パス・進行期大腸がん地域連携パスの作成に取り組んできたが、全て完成させるまでには至らなかった。
- ・今後の予定は、肺がん地域連携パスも進行期胃がん・大腸がん地域連携パスと同様にバージョンアップをさせ、次回の地域連携部会で承認を得たいと考えている。また、肝がん地域連携パスにおいては内科的パスを含め現在作成中であるが、これも次回の地域連携部会までに完成させ、承認を得たい。

### 2. 「滋賀県5大がん地域連携パス作業部会」報告

#### ■滋賀県5大がん地域連携パス運用実績集計表【資料2】

- ・2011/9/16 現在で総合計が100件を超え105件のパスが運用されている。
- ・三桁の運用件数になった背景には滋賀医大が動き出した点と、支援病院ながらも活動が活発な長浜赤十字病院の動きが見受けられる。
- ・各々の連携医療機関と連携が開始されているが、保険の算定に偏りがある。
- ・大津・湖西医療圏は12件の運用ではあるが、算定面においては良い運用となっている。
- ・滋賀医科大学付属病院、滋賀県立成人病センターについては算定不可の件数が目立っている。今後は算定有での運用件数が増えるように進めていきたい。
- ・湖北医療圏の市立長浜病院、長浜日赤の運用件数が伸びているのはネットワーク作りの完成度が高く、地域連携が成り立っている結果である。

#### ■滋賀県進行期胃がん・大腸がん地域連携パスに関する意見の結果について【資料3】

- ・前回の地域連携部会で承認を得たのち、ホームページにアップロードをした。
- ・滋賀県の各拠点病院・支援病院の腹部外科の先生方に依頼文書をもって意見の照会を行った結果、少なからず意見があがった項目について、作成者（胃がん地域連携パスについては公立甲賀病院の瀬戸山氏、大腸がん地域連携パスについては大津赤十字病院吉川氏）に意見をもどした。胃がん地域連携パスに関しては、公立甲賀病院の瀬戸山氏より既に回答されている。
- ・今回の意見の集約結果をもとに、作業部会でバージョンアップを行い、次回の地域連携部会で承認を得る予定である。

#### ■滋賀県肺がん(Ver.2)地域連携パス作成取組み状況について【資料4】

- ・肺がん地域連携パスについては、彦根市立病院林氏がバージョン 2 の素案を構成中であるが、各拠点病院の呼吸器外科の医師に部会長より連絡を入れ素案を送り、すべての医師より手ごたえのある良い回答が得られた。
- ・照会した医師からは細かい点まで指摘があった。この意見をもとに次回の作業部会で議論し最終原案を作りあげたい。
- ・肺がん地域連携パスについても進行期胃がん大腸がん地域連携パスのように、ホームページにアップロードをし、拠点病院・支援病院の医師へ意見の照会をする方向で進めていきたい。

#### ■滋賀県肝がん(内科系)地域連携パス作成取組み状況について

- ・進捗状況としては、前回の作業部会において患者プロフィールについて内容を検討し、9月29日開催予定の作成作業部会開催に向け患者プロフィールの見直しを現在行っている。
- ・今後の取り組み予定としては、9月の作業部会で進行期胃がん大腸がん地域連携パスのまとめをし、10月の作業部会にて肺がん地域連携パス、肝がん地域連携パス(内科的パスについて)を完成させたい。
- ・滋賀県の角野氏からは、肝がん地域連携パスにおいては「レッドラインを作るべきである」と意見が上がっているので、それを念頭におき仕上げに入っていきたい。
- ・乳がん地域連携パスに対しては、今後どのように進めていくべきか。
- ・乳がん地域連携パスの受け皿となる診療所では術後のフォローアップを行うところと行わないところに分かれるため地域連携が非常に困難と思われる。
- ・それは、ツールが問題なのか、地域連携システムが問題なのか。
- ・乳がん地域連携パスで数字をあげている病院のバックには、連携できるクリニックの存在がある。半分システムに問題があり、半分は連携に問題がある。
- ・今後、滋賀県がどのように運用件数をあげていくのか。今は運用件数を伸ばすだけで終わらずに、しっかり地域連携パスを作っていきたい。
- ・乳がんに対しては、フォローしやすくなっているので、関わっていく点に抵抗はない。
- ・婦人科系の医師は乳がん検診を実施するなどして女性特有の病気に対しても特定医として関わりがあるので連携しやすいのではないかと。また、乳がん学会でも乳がん地域連携パスが講演され、内容は浸透しつつある。
- ・作業部会でまた議論していきたい。

### 3. 滋賀県薬剤師会より報告

- ・滋賀県薬剤師会の富田氏より、以下これまでの取組み報告がされた。

- ・平成 23 年 7 月 1 日

**京滋北陸地区調剤薬局 e セミナー**

「チームと地域で支えるがん薬物療法～経口抗がん剤 ゼローダを例にして～」

滋賀医科大学附属病院 教授・薬剤部長 寺田 智祐 先生

- ・平成 23 年 8 月 25 日

**第1回がん治療支援研修会**

滋賀県薬剤師会主催 75 名の薬剤師参加

「5 大がん地域連携パスと薬・薬連携」

大津赤十字病院 薬剤部長 富田 国男

「がん薬物療法の副作用マネージメント」大津赤十字病院 米川 恭史

- ・平成 23 年 9 月 4 日(日)、9 月 11 日(日)

**在宅ホスピス薬剤師 認定第 2 期養成講座(全 2 回コース)**

滋賀県薬剤師会主催 30 名の薬剤師参加、認定会議を得て承認予定

(その他)介護福祉部会にて、県下会員薬局への社会資源のアンケート実施、情報公開予定

- ・調剤薬局で麻薬をもたれる事は問題とはならないのか。また、麻薬を持たれている調剤薬局を知る方法があればそれを知りたい。
- ・麻薬を持っている調剤薬局を公表するとなれば、病院の地域医療連携課に情報を届け、連携医療機関からの問い合わせに対応できるようなシステムを構築していきたい。
- ・滋賀県健康推進課では本件について関与していないので担当している医務課に確認しておく。

#### 4. 滋賀県 5 大がん地域連携クリティカルパス研修会について

- ・振り返りバリエーションの検証が必要な時期がきている。モニタリングを定期的に行う必要がある。
- ・実際に「私のカルテ」を使用している患者さんの意見をすいあげて今後の運用に役立ててもらいたい。

< 今後のパス研修会の予定 >

第 6 回 滋賀県立成人病センター	2012 年 3 月
第 7 回 滋賀医科大学付属病院	2012 年 10 月
第 8 回 市立長浜病院	2013 年 3 月
第 9 回 彦根市立病院	2013 年 10 月

#### 5. 当面の取り組みについて

- ・作業部会の時間帯(夕方からの開催)について異論がないか。→なし。
- ・進行期胃がん大腸がん地域連携パスが完成すれば、広めるツールについて企画が必要

となってくる。滋賀県薬剤師会・看護協会は組織があるので伝えられる。また、医師会は定例会を実施しているので広められる。

- ・ 今後は、滋賀県栄養士会も関わっていただく。そしてまた、滋賀県歯科医師会にも抗がん剤治療に関して歯科口腔ケアの面で協力を要請する必要がある。

以上